

## 関西学院大学総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム 第20回総会記念事業報告

細見 和志  
Kazushi Hosomi

### 【記念事業の趣旨】

今回の総会記念事業のテーマは、「未来に向けたソーシャル・イノベーション～チェンジメーカーが紡ぐ、しなやかな社会～」です。独自のアイデアと手法で社会に新たな変革を起こし、未来の幸福な社会を作り出そうと活動や研究をされている方々に集まっていただき、ご自身の経験とヴィジョンを語っていただきながら、共に、多様な人々が共生できる社会の仕組みを考えよう、というのがねらいです。

現代の私たちが直面する社会問題は、様々な要素が複雑に絡み合っています。こうした問題を解決するためには、一人の人間や単一の組織ではなく、複数の、しかも多様な人々や組織が共に協力することが必要です。複数の組織や人々が、互いの違いを生かしながら、ある目的のために協働すると、単独では成しえない大きな成果を生み出せる可能性を持っています。「ソーシャル・イノベーション」においても、違った分野で活躍するチェンジメーカーが協働することによって、困難な状況にも負けない「しなやかな社会」を作り出していけるのではないのでしょうか。

さて、このリサーチ・コンソーシアムも、今回で20回になり、これまで様々なテーマで総会記念事業を開催してきました。主なテーマを挙げてみますと、地方自治、災害復興、NPOの役割、国際貢献、環境問題、都市の再生、エネルギー問題、企業の社会的責任、ビッグデータ、地域創生、人工知能、等々様々な分野のテーマが取り上げられています。

総会記念事業では、基調講演の後、数名のパネリストにご登壇いただき、異なる視点からテーマに関する議論を深めていただきました。改めて、過去のパネリストの方々のお名前を拝見すると、大学の研究者、企業の経営者、行政組織の方々、ジャーナリスト、外交官等、実に多様な業種の方々が登場していただいたことがわかります。こうして振り返ってみますと、このリサーチ・コンソーシアムが、多様な人々の交流のチャンスとなってきたことは確かです。

今回の総会記念事業では、パネルディスカッションに先立って、川口 加奈氏(認定NPO法人Homedoor理事長)に、どうしてソーシャル・ビジネスに関わることになったのか、起業するにあたってどのような苦労があったのかについて、ソーシャル・ビジネスを实践されているご自身の体験から、お話しいただきました。その後、明治学院大学大学院教授でグラミン日本準備機構理事長の菅 正広氏、株式会社電通デジタル執行役員でアドバンストクリエティブセンター部門長の並河 進氏、関西学院大学人間福祉研究科教授で人権教育研究室室長の武田 丈にご登壇いただき、総合政策研究科教授の小池 洋次の司会進行のもと、

「ソーシャル・イノベーション」について、活発な議論をしていただきました。

今回の総会記念事業にパネリストとしてご登壇いただいた方々、さらに運営にご協力いただいた学内外の関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 【イントロダクション】

～起業家からのメッセージ～

講師：川口 加奈氏(認定NPO法人Homedoor理事長)

### 【パネルディスカッション】

「未来に向けたソーシャル・イノベーション～チェンジメーカーが紡ぐ、しなやかな社会～」と題して、3名のパネリストによるパネルディスカッションが開催されました。

パネリスト：菅 正広氏(明治学院大学大学院教授／グラミン日本準備機構理事長)

並河 進氏(株式会社電通デジタル執行役員／アドバンスクリエイティブセンター部門長)

武田 丈(人間福祉研究科 教授／人権教育研究室 室長)

司 会：小池 洋次(総合政策研究科 教授)

### 【ポスターセッション】

西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館ロビーにおいて恒例のポスターセッションが開催されました。学外会員(企業等)5件、総合政策研究科13件、合計18件のポスター発表が行われました。

#### (1) 学外会員

和田 明美(特定医療法人寿栄会)他1名

「ありまこうげん未来構想プロジェクト2020 活動報告」

中野 幸紀(総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム・フェロー)他2名

「成熟国サービス経済化進展の現状と課題(試案)」

藤原 圭介(株式会社日比谷アメニス)他1名

「市民とともに公園の魅力を高める～三田中央公園を事例として～」

野島 章吾(株)クロス クリエイティブ コア代表取締役)他8名

「“一中小企業が考える”リサーチ・コンソーシアムへの提言」

佐山 浩(総合政策研究科教授)他6名

「エスペック(株)の森づくりセミナーと連携した関西学院大学総合政策学部の里山実習」

#### (2) 総合政策研究科・総合政策学部

角谷 和俊(関西学院大学 総合政策学部)

「関西学院大学 社会情報学研究センター」

魏 小娥(総合政策研究科研究員)

「アートイベントと地域活性化－奈良県町家の芸術祭はならあとを事例として－」

小池 貴子(総合政策研究科 M2)

「フィリピンにおける廃棄物問題改善への提言～ヌエバ・ビスカヤ州バヨンボン市を事例として～」

内藤 早百合(総合政策研究科 M2)

「ネパール、アータル村におけるHomestay Tourismの現状と今後の発展に対する提案」

成川 健太郎(総合政策研究科 M2)

「略地図分析に基づくアナロジーを用いたPOI提示システム」

林 利憲(総合政策研究科 M2)

「A Recommender System to Satisfy User Requirements using Dataset of Complaints and Reviews」

大山 康平(総合政策研究科 M1)

「大手新聞社の世論調査結果の統計分析を用いた比較検討」

柿本 穂香(総合政策研究科 M1)

「Web検索のための動画の時空間特性に基づくクエリ生成方式の提案」

楊 靚(総合政策研究科 M1)

「E-Commerceにおけるユーザの潜在的不満に基づいたコミュニティ生成に関する研究」

ハンター山下 海(総合政策学部 メディア情報学科 Tijerinoゼミ)他5名

「ブロックチェーンとAR/VRに関する研究」

ハンター山下 海(総合政策学部 メディア情報学科 Tijerinoゼミ)他5名

「VRとARが社会に及ぼす影響」

江本 大介(総合政策学部 メディア情報学科 Tijerinoゼミ)他5名

「ブロックチェーンと人工知能に関する研究」

江本 大介(総合政策学部 メディア情報学科 Tijerinoゼミ)他5名

「Intelligent Blockchain+ Innovation Research Center」